



ヒグマは、日本では北海道のみに生息し、国内では最も大きな野生動物です。オスの成獣は体長2mを超え、体重は400kgに達する個体もあります。嗅覚が非常に優れているうえ、足も速く、時速50kmほどで走ります。ヒグマは雑食性ですが、主に草や果実、木の実などの植物を食べます。普通のヒグマは人間を避けますが、近年は市街地にも出没することがあり、遭遇すると非常に危険な野生動物です。

被害を避けるには？

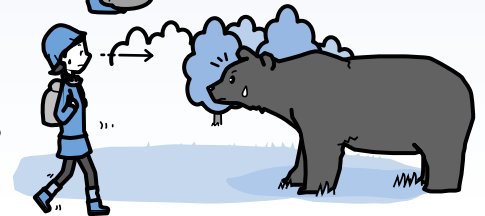
ヒグマと出合わないようすることが一番重要です。「山にはヒグマがいる」ということを前提に以下のことに気を付けましょう。

- ①薄暗いときなどには山へ近づかないようにしましょう。
- ②フンや足跡といった痕跡には十分注意しましょう。
- ③音を出しながら歩きましょう。
- ④ヒグマ出没情報に気を付けましょう。



ヒグマに出合ってしまった場合は、慌てず落ち着いて行動してください。

- ①騒がずに、静かに立ち去ってください。
- ②クマが近づいてきたときは、クマの目をにらみ続けてください。そしてゆっくりと後退してください。



「大声を出す」、「走って逃げる」などの行為は、ヒグマを興奮させて非常に危険です。

ヒグマを目撃したら？

すぐに警察または下記に連絡してください。

問い合わせ先 西区総務企画課 ☎641-2400(内線219、220)



環境局みどりの推進課 ☎211-2522

【ヒグマ出没情報】<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/top/higuma/index.html>

**カラスやヒグマを
寄せ付けないために
ごみの管理をしましょう。**

近年、山林の宅地化や天候不順などにより、野生動物の餌が不足しています。餌を求める野生動物にとって、人間の出すごみは格好の餌となります。一度ごみの味を覚えた野生動物は、それを目当てに人間の生活領域に出没するようになり、やがては人間そのものを恐れずに近づいてくるようになります。

ごみの不始末は人間の責任です。ごみステーションの管理を徹底し、野生動物を呼び寄せることなく、無用な接触を避けるようにしましょう。

問い合わせ先 【ごみステーションの掲示版などに貼るステッカー】西清掃事務所 ☎664-0053



【ごみステーションのカラスよけ器材への助成】環境局業務課 ☎211-2916

【箱型ごみステーションを敷地内に設置する場合の助成】環境局業務課 ☎211-2916